

日本勸業銀行法中改正法律案外三件(產業組合中) 委員會會議錄 速記(第四回)

會議

大正十二年二月二十三日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 原田佐之治君

理事 守屋松之助君

理事 秋本 喜七君

理事 松浦五兵衛君

理事 瀧 正雄君

理事 下岡 忠治君

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 荒井賢太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 小野 義一君

大藏省銀行局長 黒田 英雄君

大藏省參事官 藤井 眞信君

大藏書記官 天宅 敬吉君

大藏書記官 岡田 信君

農商務次官 岡本英太郎君

農商務省農務局長 長滿 欽司君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○產業組合中央金庫法案(床次竹二郎君外十一名提出)

○武藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前回ニ引續イテ質問ヲ繼續致シマス、守屋君

○守屋委員 私人今回政友會ノ提案ニ對シマシテハ贊成ノ意ヲ持ッテ居ル者デアリマスガ、茲ニ一ツ疑ハシイコトノアリマスノハ、產業組合金庫法ト、現在現在致シテ居ル此產業組合中央會ト云フモノガ、或ハ事業ノ上ニ於テ抵觸スルノ嫌ガアル、ソレハ產業組合中央會ハ組合ニ書イテアリマス通り組合ノ聯合組合ノ發達指導ヲ主ト致シテ居リ、又勅令ニ依リマシテ信用組合或ハ購買組合ノ一部ノ事業ヲスルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、先程田村委員カラ頂戴致シマシテ、產業組合中央會ノ成績ヲ見マス、信用組合モ餘程發達シテ居ルヤウニ見エテ居リマス、斯ノ如ク產業組合中央會ガ信用組合ノ事業ヲ致シテ居リマスガ、此外ニ產業組合中央金庫法ガ出來マシテ、事業ヲ營ムコトニナルト、必ズ事業ノ上ニ衝突ヲ生ズルト云フヤウナ場合ガアラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ農商務大臣ハドウ云ウ風ナ御考ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、一應何ッテ置キマス

○荒井國務大臣 只今一寸ハッキリ御質問ノ所ヲ承リマセヌデシタガ、產業組合中央會ト、本案ノ中央金庫ト何等カ衝突スル所ハナイカ、斯ウ云ウ御質問ト思ヒマスガ、別段是ハ衝突スルコトハアリマセヌ

○守屋委員 別ニ衝突スル所ハナイト云フヤウナ御説明デアリマスケレドモ、勅令ニ依リ信用組合ヲ造ルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマスガ、信用組合ト云フコトニナレバ勢ヒ中央會ニ於テ各產業組合ノ金ヲ預リ、或ハ金融スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、衝突ノ無イコトハナイト、私ハ信ジマスルガ、其點ニ付テモウ一應何ッテ置キマス

○長滿政府委員 私人守屋君ノ御質問ニ御答致シマス、產業組合中央會ニ於キマシテハ、此信用業務ハ爲セナイコトニ相成ッテ居リマス、隨ヒマシテ衝突致シマスヤウナコトハ無イヤウニ存ジマス

○守屋委員 此產業組合中央金庫法ガ發布サレマス、產業組合——各產業組合又ハ產業聯合會ト聯絡ヲ取ルコトニナッテ居リマスガ、サウスレバ此產業組合ト中央金庫法ハ産業組合ノ一ツノ組合法ノ中ニ、一ツノ仕事トシテ法律ヲ編成ナル方ガ、或ハ御監督上適當デアリハシナイガト云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ヲ獨立サセテ置キマス方ガ却テ運用上適當ト御認ニナルノデアリマスカドウカ、ソレモ一ツ何ッテ置キマス

○長滿政府委員 私人御答申上ゲマス、立法ノ形式ト致シマシテ或ハ產業組合法ト改正ヲ致シマスコトモ一ツノ方法カトモ存ジマス、併ナガラ產業組合ノ全體ニ對シマシテ、金融機關ヲ設ケマス上カラ申シマス、特別ナ法律ト致シマシタ方ガ却テ立法上宜カラウト私共ハ存ジテ居リマス、例ヘバ獨逸ノ如キモ特別ナル法律ヲ出シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○守屋委員 私人農商務省ノ方ハソレダケニ致シテ、提案者ニ一寸御伺ヒ致シタイト思ヒマス、本法ノ中ニ加入者ノ義務ニ關スル規定ハアリマスガ、權利ニ關スル規定ハ見當ラナイノデアリマスガ、之ヲ第一ニ御質問致シマス、ソレカラ加入者ノ總會ヲ行ヒマスノハ、或ハ定款ニ依ッテ之ヲ御定ニナルノダラウト思ッテ居リマス、併シ株式會社デアリマスレバ、商法ノ規定ニ依ッテ定款ニ、商法ニアリマス規定ヲ準用スト書クコトガ出來マスケレドモ、本法ハ株式會社デモ又產業組合法デモナイ、詰リ獨立シタ一ツノ法律デアル、其獨立シタ方立ノ場合ニ於テ、加入者ヲ招集シテ總會ヲス

ルトキニ、其總會ヲ招集スル時期、或ハ決議ノ範圍、或ハ其決議ノ委任事項等ハ、ドウ云フ風ノ規定ニ依ッテ定メタラ適當デアルカ、其事ニ付テ第二ニ御意見ヲ御伺ヒ致シマス、ソレカラ中央金庫ニ加入シタリ脱退シタリスル規定ガナイヤウニ思ヒマス、加入脱退ニ付テモ是ハ定款ニ依ッテ御規定ニナルダラウト思ヒマスケレドモ、是亦一ツノ法律トシテ出シマスレバ、加入脱退ノ規定ガナクテハナラヌヤウニ思ヒマス、ソレカラ解散清算ニ關スル規定ハ第七條ニ商法ノ規定ヲ準用スルコトガアリマスケレドモ、併シ此點ニ付テモ餘リ漠然ト致シテ居リマスガ、是ハ何ニ依ッテ御規定ニナリマスカ、ソレダケヲ御伺ヒ致シマス

○武藤委員長 一寸私提案者トシテ大要御答致シテ尙ホ牧野君カラ補足ヲ願フコトニ致シマス、此本案ガ成立致シマスレバ、創立準備委員ト云フモノガ任命サレ、其機會ニ定款ヲ作ラル、事ト思フノデアリマス、ソレデ本案起草ニ付キマシテハ、略々定款ノ要旨ダケハ腹案ガアリマス、併シ是モ政府當局トマダ打合セテ譯デアリマセヌ、ソレデ只今御尋ノ加入者ノ權利義務ノ如キハ、定款ニ規定ラシ、又第二ノ御質問ニ付キマシテモ、是ハ定款ニ規定スルコトガ相當ナリト信ジマス次第デアリマス、尙ホ詳シイコトハ牧野君、瀧君等カラ御答ヲ願フコトニ致シマス、尙ホ此機會ニ御尋ハアリマセヌケレドモ、主要ノ點デアリマスカラ、提案者トシテ此案ノ中カラ削除ヲ致シタイト思フモノガアリマス、第十九條「產業組合中央金庫ハ拂込金額ノ十倍ヲ限リ產業債券ヲ發行スルコトヲ得」トアリマス、ソレニ但書ガ「貸付金現在高割引手形現在高及其所有ニ係ル有價證券現在高ヲ超過スルコトヲ得ス」トアリマスノデスガ、段々調査ヲ致シテ見マス、拂込金額ノ十倍ヲ限ッテ產業債券ヲ發行サレルコトヲ許サレマスレバ、此但書ハ要ラスモノト思ヒマス、削リタイト思ヒマスカラ改メテ此機會ニ御紹介ヲ申上ゲテ置キマス

○瀧委員 アナタノ今仰シヤク但書ヲ削除ノ件デスガ、私モ其點ニ付テハ多少考ヲ持ッテ居リマスケレドモ、成ベク此案ハ憲政會ノ諸君、又庚申俱樂部、革新俱樂部ノ諸君ト共ニ能ク御相談ヲシテサウシテ懇談ノ結果、練ク結果ニ落付キタイト思ヒマス、其點モ委員長カラ御提案ハ御提案トシテウモ少シ練ラシテ戴キタイト思ヒマスカラ、御合ミ置キヲ願ヒマス

○牧野委員 只今守屋委員カラノ御質問ノ一二三四項ニ付

キマシテハ、總括的ニ武蔵委員長カラ提案者ノ一人トシテ御答ニナクテコトヲ以テ全部ヲ盡シテ居ルト存ジマスケレドモ、四項目ニ互フテ御質問デアリマスカラ、此際私カ更ニ簡單ニ申上ゲテ置キタイト存ジマス、加入者ノ義務ニ關スル規定ガ本案ニアルケレドモ、權利ニ關スル規定ガナイハ不備デハナイカト云フ御質問ハ、一應御尤ノ御質問ト拜承致シマス、併ナガラ此權利ニ關スルコトハ主トシテ之ヲ法律ニ規定スルニアラザレバ、稍々不穩當ナル場合ガアリマスガ、義務ニ關スルコトハ定款事項トスルコトヲ以テ穩當ト信ジマス、サウ云フ考カラ、此處ニハ義務ニ關スル規定ヲ致シテ居リマセヌ次第デアリマス、第二點ハ總會ニ關スル規定ガ缺如シテ居リハシナイカ、是モ御尤ト存ジマス、此點ハ本案第七條ニ「商法中株式會社ニ關スル規定ハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク」外産業組合中央金庫ニ付之ヲ準用スルト規定致シテアリマシテ、本法ニ規定ナキモノハ商法中株式會社ノ規定ヲ準用致シタ、之ニ關シテハ色々ノ御議論モアリマセウガ、條文記述ノ上ニ於テ、株式會社ニ關スル規定ノ必要ナルモノヲ、各々本法中ニ引用致シマシヨリハ、總括的ニスル様ニ致シテ準用致ス方ガ便利ト考ヘテ、斯カル形式ニ規定致シマシタ、隨テ總會ニ關スル規定モ、商法中株式會社ニ關スル總會ノ規定ヲ準用サレルモノト御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、第三ノ御質問ハ加入ノ脱退ニ關スル規定ナキヤ如何、是モ御尤ノ御質問カト存ジマス、是モ定款事項ト致スコトヲ適當ト信ジマシテ、茲ニハ揭ゲナクテ次第デアリマス、第四ハ解散清算ニ關スル規定如何、此御質問ニ對シマシテモ只今第二問ニ御答ヘ致シマシタト同ジコトニ、第七條ノ規定ニヨリ商法中株式會社ニ關スル規定ヲ大體適用シ、其他ニ關スルモノハ是モ亦定款ニ於テ規定致シタイ、斯様ナ考ヲ持テ居リマス

○守屋委員 株式會社ノ規定ヲ準用スルコトニナクテ居リマスケレドモ、加入脱退ニ關スル規定ト云フヤウナモノハ株式會社ノ方ニハアリマセヌノデ、詰リハ産業組合法ニ特別ナ法令デハナイカト思フテ居ル、サウスレバ本法ハ産業組合法ト略々同一ナ信用組合ヲ設立シタモノデアリマスカラ、加入脱退ノ如キハ、本法ヘ御加ヘニナル方ガ適當デハナイカト思フ、是ハ私ノ意見デアリマスカラ御相談致スノデアリマス、株式會社ノ規定ヲ準用スルコトハ大體出來ナイヤウニ思ヒマスガ一應御意見ヲ伺ヒマス

○牧野委員 只今守屋委員ヨリノ重ネテノ御質問御意見ニ付テハ十分敬承致シマス、此點ハ御懇談ヲ申上ゲ、且ツ提案者ニ於キマシテモ考慮ヲ致シタイト存ジマス

○守屋委員 本法ノ第十三條、第十四條、第十五條、第十六條ニ付テ少シ同ヒタイ、昨日鈴木君ヨリ御尋ガアツタヤウニ

思ヒマスガ、第十三條ノ中ノ「所屬産業組合」ト云フ「所屬」ト云フ文字ニ付テ御尋ガアリマシタ其時、牧野委員ノ御答ニ依リマス、相互的ノ組合デアルカラ、所屬産業組合或ハ所屬産業組合聯合會ニ對シテ金融ヲ圖ルガ宜イト云フ御意見デアリマシタ、是ハ御尤ノヤウニ思ヒマス、然ルニ第十六條ニ所屬デナイ産業組合ニモ貸付金ヲスル途方開ケテ居リマスカラ、サウスレバ第十六條ノ第二號ノ「公共團體、産業組合聯合會、産業組合共ノ他營利ヲ目的トセザル法人」ニ對シテ短期貸付ヲ爲スコト「此條項ヲモウ少シ延長シマシテ第十三條ノ方面ヲ延バシタラドウカト云フ意見ヲ持テ居ル者モ多クアルヤウニ承テ居リマス、是ハ本法ヲ活用スル上ニ於テソレガ適當デナイカト思ヒマスガ、昨日ノ提案者ノ御意見ヲ承レバ御尤ノ點モアリマシタ、此點ニ付テモウ一應御再考ヲ願ヒタイ、サウシテ第十四條ニ産業組合中央金庫ハ必要ガアル場合ニハ、擔保ヲ徵シテ第十三條第一號第二號ノ業務ヲスルコトニナクテ居ル、サウスレバ第十三條第十四條第一號ニ之ヲ業務トシテ活用致シマス場合ニ、矢張第十四條第一號ノ範圍ニ移テ行キハセヌカト云フコトヲ慮レマス、サウ云フ場合モアリマスカラ、第十六條ノ第二號ヲ、第十三條ノ方面ニ擴張シタ方ガ仕事スル上ニ於テ適當デナイカト思フ、第十六條ノ大體ノ規定ハ日本勸業銀行法並ニ農工銀行法ニ規定シテアルヤウナモノカ載テ居リマスカラ、勿論其等ノ規定ヲ參照シテ御裁セニナクテモト察シテ居リマシテ、大體ニ於テ第十六條ハ適當デアルト思ヒマスガ、只今ノ短期貸付ニ付テ産業組合聯合會、産業組合、其他營利ヲ目的トセザル法人ニ對シテ、第十三條ノ「所屬」ト云フ文字ニ拘泥セズシテ、業務ヲ擴張サレタ方ガ適當ト信ズルノデアリマス、サウ云フ事柄カラ考ヘマシテ、更ニ第十五條ノ定期預金ト云フコトニ關シテ、此定期預金ハ一般ノ預金以外ニ更ニ定期預金ト云フ規定ヲ第十五條ニ御設ケニナリマシタ、是ハドウ云フ意味デ特ニ此所ヘ御設ケニナクテデアリマスカ、其事ヲ承リタイ、サウシテ是等ノ中央金庫ニ於テ取扱フ預金ハ、必ズ其中央金庫ノ資本額、或ハ拂込資本額ノ半分、或ハソレニ相當シタマケノ預金ニシタ方ガ安全デハナイカト思ヒマス、若シモ此預金ノ制限ヲ付ケナイ場合ニハ、必ズ他ノ銀行業ト中央金庫トガ衝突スルヤウナ場合ガ起リハシナイカト思ハレル、一面政府ガ銀行業ノ發達ヲ圖リ、一面又中央金庫ノ發達ヲ圖ルコトニナリマスケレバ、ドウシテモ預金ニ制限ヲ置カナイト、預金ノ爭奪ヲ生ズルコトニナリマスカラ、斯ル法律ヲ以テ相當保護シテアル特殊ノ銀行又ハ金庫ニ對シテハ、預金ノ制限ヲ置クコトガ適當デアルヤウニ思ヒマスガ、此制限ヲシナイ點ニ付テ提案者ノ御意見ヲ承リタイ

○牧野委員 重ネテ守屋委員ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、第一問ハ第十三條中所屬組合ニ限ラコトニ付テ其理由ヲ質シタイ、ソレニ對シ第十四條第十五條、第十六條ニ關聯シテノ御質問ト承リマシタ、第二問ハ第十五條ニ「定期預金」ヲ爲スコトヲ得「下アル、何ガ故ニ定期預金ヲ特ニ此所ニ掲ゲタカ、而シテ更ニ此預金ノ額ヲ制限スルノ意ナキヤ、此二項目ノ御質問ト拜承シテ御答致シマス、第十三條「所屬」ト限リマシタニ付テハ、曩ニ御答致シマシタ通り、多少考慮致シタ點デアリマス、此金庫ノ成立及發達ニ付テハ各方面ヨリ相當心配ノ眼ヲ以テ見ラレテ居ル、殊ニ心配ノ第一ハ果シテ三千万圓ノ資本中、其半額デアル千五百万圓ノ能ク現在ノ組合中ヨリ、若クハ聯合會中ヨリ出資シ得ベキヤ否ヤ、此點デゴザイマス、御承知ノ通り此金庫ハ剩餘金ノ配當ハ致シマスケレドモ、營利ヲ目的ト致シマセズ、殊ニ社會政策的機關トシテ貸付金ノ利率ガ低ウゴザイマスカラ、剩餘金ガ多ク出ルコトハ豫想スルコトガ出來マセヌ、又ソレハ豫想シテハナリマセヌ、隨テ其結果トシテ本金庫ノ出資ニ對スル配當ハ頗ル少イモノト云フコトガ前提ニナクテ居リマス、其少イ配當ヲ受ケル所ノ金庫ノ出資金ヲ裁テ致スコト云フニハ、ソコニ何等カノ利益ヲ與ヘナケレバナラヌ、乃チ出資者ニ限ルト云フコトニ依テ、彼等ノ出資ヲ此所ニ集メル機會ヲ與ヘル、斯ウ云フ積リデアリマス、此點ニ關シテ時ニ各位ノ御注意ヲ喚起シテ置キタイノハ、最近埼玉縣ノ或ル方面カラ此所屬「下限」ラコトニ付テ多少ノ意見ヲ述ベラレタ向ガアルヤウニ承テ居リマス、ソレハ誤解デアリマシテ、其理由トシテハ之ヲ出シ得ナイ組合ガ困ルト云フノデスガ、御承知ノ通り本金庫ノ出資金ハ一口ガ百圓、一口ヲ以テモ出資者タル資格ヲ得ル、而モ此百圓ヲ十箇年ニ納メレバ一年僅ニ十圓デアリマス、一年十圓ノ金ヲ出シ得ナイ組合ノ成立ト云フコトヲ吾々ハ認メルコトヲ絕對ニ致スコトガ出來ナイノデアリマス、隨テ此點ニ付テハ何等ノ弊害ナク其等ハ誤解ニ過ギナイ、少クトモ机上ノ誤解ニ過ギヌト解シテ居リマス、又是ハ所屬ノ二字ヲ取テ一般産業組合又ハ産業組合聯合會トシテモ別段差支ナイデヤナイカ、ソレニハ第十六條ノ一項ノ二號ニ於テ所屬ニ非ザル産業組合聯合會、産業組合ニ付テハ爲スコト、アルカラ、特ニ第十三條ノ業務ヲ所屬産業組合聯合會及産業組合ノミニ限ルト云フコトハ、稍々其必要ヲ認メ難イト云フ御考ガ出ルカモ知レマセヌガ第十三條ノ所屬ノモノニ貸付ケルノハ原則デアツテ、其原則ニ基イテ餘裕金ヲ生ジタナラバ、其餘裕金ヲ利用スル爲ニ所屬以外ノ産業組合並ニ産業組合聯合會ニ貸付ケルコトガ出來ルト云フ意味デアリマスカラ、希クハ此本金庫ノ出資ノ機會ヲ全國産業組合ニ普ク與ヘタイト思フノデ、萬一

這入ラスモノニマデモ尙ホ餘裕金ヲ貸出スコトガ出來ル、
斯様ニ致シテラバト云フ意ニ外ナラヌノデス、尙ホ此點ニ
關シテハ別ノ機會ニ於テ御懇談ヲ申上ゲテ、皆憶キマスル
所ノ希等達成シタイト存ジテ居リマスケレドモ、此處デハ
唯、立案ノ趣旨ダケヲ申述ベテ置キマス、第二箇ノ第十五
條ノ此金庫ガ定期預リ金ノミヲスルコトニ規定シタノハ、
他ノ預リ金マデモスルコトニナルト、只今守屋委員ノ御懸
念ニナリテ通リ吾々モ懸念シテ居リマス、即チ普通銀行ト
預金ノ爭奪ガアツテハナラヌ、ケレドモ此金庫ハ資金ヲ得ル
ノ途ハ相當ニ講ジテ置カナケレバナリマセシカラ、普通銀
行其他特殊銀行ト、預金爭奪ノ弊ニ陥ラザル限リニ於テ、培
養ノ規定シテ置カナケレバナラヌ、ソレニ付テハ、定期預
金ト限ラバ其弊害ガ比較的少カラウト思フノガ其一、
又定期預金ナラバ大體ニ於テ抽出ノ時期ガ限ラレテ居リマ
スカラシテ、業務遂行ノ上ニ於テ希クハ不便ナキコトヲ期
スルコトガ出來ヤウ、斯様ニ思フノガ其二、左様ナ意味カ
ラ定期預金以外ニ及バナカッタ次第デアリマス、更ニ定期預
金額ヲ定ムルノ必要ハナイカ、是ハ御質問ヲ承テ頗ル思當
ルコトガアリマシテ、此點ハ感謝致シマス、サリナガラ守屋
委員ハ承レバ本金庫ノ事業ノ將來ニ付テハ、非常ナ樂觀說
ヲ持タレ、殆ド全部ノ預金ガ立所ニ集リハシナイカトマデ
思ハレテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、吾々共ハ差當
リソレ程ノ結果ガ立所ニ現ハレルヤウナコトハアルマイト
考ヘテ居リマシタ爲ニ、守屋委員ノ如キ懸念ヲ懷カナカッタ
次第デアリマスガ、是モ更ニ御懇談ヲ申上ゲテ、適當ナル
方法ヲ講ジタ方宜イナラバ左様致シタイト思ヒマス

○守屋委員 モウ一ツ御致シマス、第二條ニ從テ事務
所ヲ設置スルコトヲ得「トアリマス、此從タル事務所ハ何レ
支店若クバ代理店ノヤウナモノグラウト思ヒマスガ、此從
タル事務所設置スル範圍ノ如何ニ依テハ、先程私ガ御尋シ
タヤウニ、銀行業者ト衝突ガ起リハセスカト思フ、現ニ御承
知ノ通り地方ノ小銀行ハ相當ノ預金利子ヲ拂ッテ居ルニ拘
ラズ、信用アル政府ノ郵便貯金ノ方面ニ向ッテズン、預金
ヲ吸收サレル、尙ホ產業組合ノ相當預金ハ、其等ノ地方ノ
小銀行ニ預金シテアル傾ガアル、サウシテ政府ノ統計ニ依
リマス、普通銀行ノ預金ノ約倍額ノ預金ヲ郵便貯金ガ持ッ
テ居ル、其内ノ約三分ノ一ハ農業者デアルト云フコトデア
リマスレバ、ドウシテモ中央金庫法ガ布カレレコトニナル
ト、郵便貯金ノ幾分ハ產業組合ノ方ニ吸收サレ、其產業組合
ニ吸收サレタモノガ中央金庫ニ吸收サレル、尙ホ民間ノ預
金ハ普通銀行ニ預ケテアルモノヲ引出シテ、中央金庫ニ預
金スルコトニナレバ、勢ヒ他ノ金融業者間ニ恐慌ヲ來シハ
セヌカト云フ虞ガアル、牧野君ハ私ガ中央金庫ニ付テハ樂

觀説ヲ持ッテ居ルヤウニ御取リニナリマシタガ、全クサウ云
フ狀況カアルグラウト思フ、テ居リマス、サウスルト幸ヒ此處
ニ大藏省ノ政府委員ガ御出デアリマスガ、此從タル事務所
ノ設置ノ範圍竝ニ其數ノ如何ニ依テハ、必ズサウ云フ弊害
ガ起リテ、銀行業者間ニ恐慌ヲ來スヤウナコトガアリハセヌ
カト私ハ懸念シマスガ、此點ニ付テハ大藏省ノ政府委員ノ
御意見ノ在ル所ヲ一應承テ置キタイト思ヒマス

○牧野委員 大藏省ノ政府委員ノ御答ハ後ニシテ戴キマシ
テ、只今ノ守屋委員ノ御質問ニ對シテ提出者ノ有スル意見
ヲ先ニ申述ベタイト思ヒマス、從タル事務所即チ普通一般
ノ銀行ノ支店ニ關スル御質問ハ、本法案ノ最重要ナル點
ニ關スル御質問トシテ非常ニ傾聴致シタ次第デアリマス

〔牧野委員長代理退席、武藤委員長復席〕
此點ハ此金庫法案ガ成立シタル際ニ於テ、此金庫ノ運用上重
大ナル關係ヲ有スル點デアリマシテ、私共モ頗ル注意ヲ拂ッ
テ居ル點デアリマスガ、大體ニ於テ此從タル事務所即チ支
店ノ如キモノニ關スルコトハ、聯合會デ以テ取扱ハシメタ
イト云フ考デアリマス、守屋委員モ恐ラク御同感デアラウ
ト存ジマスガ、此法案ガ幸ニシテ皆様一同ノ手ニ依テ成立
スルコトニナレバ、恐ラク全國ニ對シテ聯合會ノ非常ナル
普及ヲ達ラシムルコトガ出來ラウト思フ、ソレニ付テハ
其範圍箇所等ノ事ハ、法律ニハ何等定メテ置カナイデ、定款
ニ於テ定メタイト斯様ニ思フテ居リマス、次ニ信用ノ媒介ヲ
本來ノ任務トスル組合聯合會ニ於テ、金融ヲ掌ラシムルト
云フコトハ種々ナル面倒ナ事情ニ付テ、需要者ノ信用ヲ適
當ニ調査シタリ、又集散ヲ圖ツタリスルノ頗ル便利デアラ
ウト斯様ニ思ヒマスノデ、其爲ニ特ニ此聯合會ト云フモノ
ヲ利用スルコトガ、本金庫ノ目的ヲ達スル上ニ非常ニ有利
デアル、斯様ニ考ヘマス、第二ニ金ガ集マリ過ギテ地方ノ銀
行ガ恐慌ヲ來シハシナイカ、サウ云フ事ハ私共ハ考ヘマセ
ヌ、寧ロ預金利率モ餘リ高キモノヲ拂フコトガ出來ナイノ
デアリマスカラ、此點ニ於テハ多少集メルニハ組合ノ觀念
ヲ地方ノ人ニ吹込シテ、是ハ公共的ノモノデアアル、又自分等
ノ物デアアルト云フコトヲ徹底的ニ頭ニ入レシムルコトニ依
テ、金ヲ集メルヤウニ心配ヲシナケレバナラヌ、而シテ若シ
其目的ヲ達シテ利子ハ安クモ本金庫ニ金ガ集マルコトニ
ナレバ、日本國民ガ團體生活ヲ心カラ理解スルヤウニナレ
バ、其時コソハ何物ガ犠牲ニナツテモ差支ナイ、否ソレハ犧
牲デナクシテ、日本國民ノ本當ノ力ガ心カラ湧イテ來タノ
デアリマスカラ、洵ニ結構ナ事デアリマス、隨テソレ程銀行
ニ打撃ヲ與ヘルトハ立案者ハ豫想致シテ居リマセヌ

○荒井國務大臣 守屋君ノ御質問ニ對シテ、政府ノ大體ノ
意見ヲ申シマス、業務ノ章ノ中ニ於テ多少政府モ意見ヲ持ッ
テ居リマスガ、併シ是ハ御審議ノ進ムニ從ッテ適當ニ此條項
ガ御審議ニナルト思ヒマスカラ、其機會ニ於テ政府モ考慮
スベキ點ハ考慮シテ、又意見モ申上ゲヤウト思ヒマス、只今
守屋君ノ御質問ノコトモ案ノ審議ノ進ムニ從ッテ、政府モ意
見ヲ述ブル必要ガアル場合ハ申述ベヤウト思フテ居リマス、
左様御承知ヲ願ヒマス

○守屋委員 第三十六條ニ「產業組合中央金庫ハ創立初期
ヨリ十五箇年間政府ノ出資ニ對シテ剩餘金ノ配當ヲ爲スコト
ヲ要セス」トアリマスガ、此十五箇年ニ對シテ政府ハ御同意
ナサレノデアリマスガ、其次ニ此中央金庫ヲ設立致シマシ
タトキニ、登録稅法ニ關スル規定ハ本法ニ付テモ他ノ法律
デ——登録稅法改正法律案デ、モ御規定ナサレ方適當デ
ナイカト思ヒマス、是ハ牧野委員ノ御意見ヲ伺ヒマスガ、ソ
レガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ本法ス如キモノハ產業
組合法デモナシ、又商法ノ規定ヲ準用スルノデアリマスガ
ラ、一ツノ獨立法デアリマス、サウスレバ中央金庫ハ民法カ
ラ考ヘテモ、社團法人ト云フコトハ定テ居リマス、併シ特
ニ社團法人トスルト云フコトハ明記ガナクモ宜イモノデ
アルカ、ドウデスカ、是ハ一ツノ立法例デアリマスカラ、御
尋致シマス、次ニ貸付金ノ制限ガ本法ニ規定ガアリマセヌ、
是ハ產業組合ノ出資額ハ大體判ツテ居リマスカラ、中央金庫
ノ理事長ガ適當ニ處理シテ宜イト云フコトニナレバ構ヒマ
セヌケレドモ、若モ或ル產業組合ニ依テハ非常ニ事業ヲ致
シマシテ莫大ノ貸付金ヲ有スル場合ガナイトモ限ラナイ、
故ニ矢張此制限モ設ケル必要ガアルト思ヒマス、此點ニ付
テ提案者ノ御意見ヲ伺ヒマス

○荒井國務大臣 三十六條ノ創立初期ヨリ十五箇年間、政
府ノ出資ニ對シテ剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ要セスト云フ點
ニ付テハ、是ハ大體政府デハ是デ宜イ積リデアリマス

○牧野委員 守屋委員ニ御答致シマス、第一ハ本法人設立
ノ登録稅ニ關スル御質問デアリマス、大體此種法人ノ設立
ハ登録稅ハ必要ガナカラウト只今思料致シテ居リマス、此
點ハ大藏省ノ主稅局トモ打合セタイト思フテ居リマス、第二
ノ御質問ハ本法人ハ社團法人デアアルコトヲ明記スル必要ナ
キヤト云フノデアリマスガ、別段其必要ハ無カラウト存ジ
マス、民法第三十三條ニ依テ設立スルモノデアリマシテ、
勿論社團法人ニ屬スルコトハ申上迄モナイト思ヒマス、第
三箇ハ貸付金ニ對スル制限ヲ置クノ必要ナキヤ、是ハ極テ
實際ノ場合ニ對スル適切ナル御質問存ジマス、此點ハ十
分考慮ヲ費サナケレバナラヌト思ヒマスカラ、更ニ御懇談
ヲ經タイト存ジマス

○鈴木委員 第十六條ニ「預リ金ノ四分ノ一以上ハ國債又
ハ公債ノ買入、大藏省預金部若ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタ

ル銀行へノ預金又ハ郵便預金ト爲スコト」ト規定シテアリ
マスガ、此理由ハドウ云フ譯デアリマスカ、貯蓄銀行等ニ於
テハ之ニ類似ノ制限ガアリマスガ、アレハ貯蓄銀行其モノ
ノ信用維持ト、預金拂戻ノ準備ノ上カラ必要ナルコトデア
リマスケレドモ、本法ノ場合ハ徹頭徹尾、政府ノ監督ヲ受ケ
テ居ルノデアリテ、信用ニ付テ懸念スベキ所ハナイ、サウシ
テ見レバ斯ウ云フ制限ヲ設クル必要ハナイト思ヒマス、申
ス迄モナク産業組合中央金庫ナルモノハ、資金ヲ得ルコト
ニ付テ非常ナ困難ガアリヤシナイカト云フ懸念ガアル、又
資金ガ不足シヤシナイカト云フ懸念ガアル、サウ云フ場合
ニ於テ、斯ノ如キ金庫ノ金ヲ束縛スルト云フコトハ、ドウ云
フモノデアアルカ、適當ナルコトデアラウカドウカ、一應承リ
タイ

○牧野委員 御答致シマス、只今鈴木委員ノ御質問ハ第十
六條第一項第一號ニ預リ金ノ四分ノ一以上ニスル制限ヲ置
クノ必要ハナイジヤナイカト云フ御質問ト解シテ御答致
シマス、必要ハナカラウト云フ御議論ハ尤ナ議論ト私共モ
信ジテ居リマス、サリナガラ何故之ヲ入レタカト云フコト
ノ内輪語ヲ申シマスルト、貯蓄銀行ノミナラズ、總テテ見マ
スルト、農工銀行ニモアッタノデアリマス、サウ云フコトカ
ラ入レタノデアリマスガ、然ラバ其理由如何トナリマスル
ト、是ハ外ノ預金ハ受ケマセケレドモ、定期預リ金ヲ受ケ
テ居ル、ソレデ矢張制限ヲ置イテ確實ナル方法ヲ講ジテ置
キマセスト、行キ當ル恐ガアリハシナイカ、デアリマスカラ
信用ニハ缺ケル所ガナイ勸業銀行、信用ニハ多ク缺ケル所
ガナイ農工銀行、ソレ等ノ例ニ做ッテ一通ノ形式ヲ整ヘテ
置クノハ、實ハ矢張形式上必要デハナイカト解シテ實ハ斯
様ニ入レタノデアリマス、其邊ノ御心持ヲ持ッテ御覽ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○鈴木委員 一應御説明ハ御尤デアリマスルガ、四分ノ一
以上ト云フト、當局者ノ役員ノ取計ヒニ依ッテ、幾ラデモ多
クスルト云フコトガ出来ルノデアリマス、カラシテ、此點ハ
餘程御考慮ヲ要スルコトデアラウト信ジマス、大體ニ於キ
マシテ此法案ヲ見マスルト云フト、非常ニ何ト申シテ宜シ
カ官僚的法案ノヤウニ見エル、官僚的ト云フハ、語弊ガアル
カモ知レマセウガ、一種是ハ政府國立ノモノカ、若クハ官營
ノモノ、如キ觀ガアル、勿論ソレハ政府ニ於テモ半額ノ資本
金ヲ出資スルノデアリマス、出資スルノデアリマスケレド
モ、産業組合ト雖モ民間ニ於テ半額ノ資金ヲ出スノデアリ
マス、多少此産業組合、所謂民間産業組合ト云フモノ、權利
ト申シマスカ、自由意思ト申シマスカ、サウ云フヤウナモノ
所謂民衆氣分ト申シマスセウカ、サウ云フヤウナモノノ
法文ニ加ヘル必要ハナイモノデアリマセウカ、日本銀行等

ニ於テスラ斯ノ如キ束縛ハ受ケテ居ラス、徹頭徹尾官營ノ
條文ノ書方デアルヤウデ、一々認可ヲ受ケ、命令ヲ受ケ、役
員ハ總會ノ官選デアル、日本銀行以上ノ束縛ヲ蒙ッテ居ルノデ
アリマス、例ヘバ産業組合ニ於テモ、總會ト云フモノハ、認め
ル、決算報告ノ總會ト云フモノハ、ヤルノデアアル、然ルニ之ニ
ハ總會ノ規定モナイヤウデアリマスガ、ドウ云フコトデア
リマスカ、餘リニ所謂官臭紛々タル條文ノヤウデアアル、併ナ
ガラ是モ此方面以外ニ横田サンノ先達テ御説明ニナッタヤ
ウニ、是ハ資金ハ誠ニ十分ダ、世間テ議論サレルヤウニ不
十分デアアルガ、併ナガラ之ニハ預金部ト云フモノガ附イテ
居ル、預金部ノ金ヲ十分ニ利用スルコトガ出来ルノデアアル、
斯ウ云フ御説明デアアル、ソレデ此法文以外ニ言外ニサウ云
フ意味ヲ含ンデ居テ、ソレヲ今日ノ當局者モ認めテ、提案
者ノ希望ノ如ク運用ヲサセル、預金部ト云フモノ、利用ヲ
提案者ノ希望ニ添フヤウニスル、斯ウ云フ御説明ガ今ノ政
府ニアルト致シマスレバ、ソレハドウ書イテモ宜シイカモ
知レナイ、如何ニ官臭紛々デモ、官僚的デモ、ソレハ宜イカ
モ知レマセウガ、唯、此法文自體ヲ其儘直覺シテ見ルト云
フト、サウ云フ風ニ見エル、又左様ニ提案者ガ現内閣ト諒
解ガアルカドウカト云フコトモモダ承ラス、サウシテ見レ
バモウ少シ産業組合自體ノ權利ヲ認メルト云フヤウナ法文
ノ書方ニハナクテ居ラス、ソレ等ノ内情ニ付テ政府若クハ提
案者ノ内情等ニ付テノ御説明ヲ承ルコトガ出来レバ大變幸
ト致シマス

○牧野委員 御答致シマス、只今ノ御質問ニハ洵ニ恐縮致
シマス、出来ルダケ本當ノ事ヲ申上ゲテ、御了承ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス、官僚的色彩ガ多イヤウニ思フ、之ニ對
スル所見如何、斯様ナ御質問ト解シテ御答致シマス、實ハ此
法文ハ我國ノ特殊銀行其他ニ比較致シマスルト、極テ官僚的
色彩ノ乏シクナク、タモト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、ド
ウ云フ點デ左様ニ言フカト云フト、日本銀行法、勸業銀行法、
農工銀行法、北海道拓殖銀行法、臺灣銀行法、朝鮮銀行法、是
等ヲ參酌致シテ、其中カラ極テ官僚的ノ部分ヲ除ケラ、除ケ
ルヤウニシテ是ダケヲ作り上ゲタノデアリマスカラ、新ニ
別ニ目的ヲ以テ立テタルモノトシテノ御議論ナラバ率知ラス、
現在ニ於ケル我國ノ金融ト致シマシテハ、官僚的色彩ノ比
較的薄イモノト信ジテ居リマスガ、其點ニ付テハ比較研究
ノ足ラザル點ガアリマシテ、御答ヲ願フ點ガアリマシタ
ラバ、御注意ヲ戴イテ成ベク官僚的色彩ハ必要以外ニハ著
カセナイヤウニ思フテ居リマスケレドモ、立案ニ對シテハ比
較研究ニドントナ注意ヲ拂ッタカト云フコトヲ申上ゲテ置キ
マス、第二ニ此案ハ單純ナ金融機關ト思召サナイヤウニ願
ヒタイ、ト云フコトヲ横田議員モ提案ノ理由ノ中ニ申サレマ

シタ、私モ昨日此點ニ力ヲ入レテ申シタノデアリマスルガ、
本金庫設立ノ目的及任務ト申シマスルト、其任務トスル所
ハ生産ニ努力スル中産以下ノ人ノ資金ヲ出来ルダケ充足セ
シメテ、彼等ノ總テノ努力ヲ——國家ノ生産ニ對スル彼等
中産以下ノ努力ヲ獎勵シ、隨テ之ヲ維持シ、普及スルコトニ
アルノデアリマシテ、其見地カラシテハハ國家ガ行フ社會
政策ノ中ノ極テ重要ナルモノト思フノデアリマス、其國家
ガ行フ社會政策ヲ、國家ヨ、汝、斯ノ如キ形式ニ於テ之ヲ行
ヘト云フノガ、是ガ本案ノ趣旨デアリマス、其形式トハドウ
云フコト云フト、國家ガ之ヲ自行フガ、併シ只與ヘルヤ
ウニ行フテハ國民ヲ開發シテ行クコトハ出来ナイ、少クトモ
今ノ我國ノ空氣ニハ副ハナイカラ、組合員ヲ入レテ相互的
ノ組織ヲ以テ之ヲ導イテ行ク、即チ本會議ニ於ケル農業振
興ノ際ニ、憲政會ノ下岡代議士ガ御述ニナリマシタ趣旨、其
趣旨ヲ相共ニ達スルヤウニ、政府ヲ鞭撻獎勵シテ、サウシテ
社會政策ヲ行ハシメル積リデアルケレドモ、唯々恩惠的ナ
社會政策デハイカヌ、皆ヲ共同ニ入レテ一絡ノ力ヲ行フト
云フ方法デナケレハイカヌト云フ積リテ拵ヘマシタ、其意
味ニ於テ産業組合ト云フモノヲ引入レテ一絡ニシテ進マウ、
斯ウ云フ考デアリマシタガ、何處迄モ政府ヲシテ行ハシメ
ル社會政策ノ重要ナルモノ、一ツデ、是ガ本案ノ根本的精神
ヲ成シテ居リマス、又次ニ御注意ヲ願ヒタイハ、評議員デ
アリマス、是ハ御承知ノ通り獨逸ノ、是レハ模範ヲ致シマシ
タ産業組合中央金庫案ニ於キマシテモ、同ジモノヲ認メテ
居リマスガ、此評議員ト云フモノヲ相當權威アルモノニシ
タイ、而シテ此組織ナラバ必ズ權威アルモノニナルニ相違
ナイ、ソレハ皆吾々御互ノ力ヲ權威アルシメテ行キタイ、サ
ウシテ一絡ニ此目的ヲ達シテ行キタイ、斯様ニ解シテ居ル
ノデアリマス、大體列國ノ立法例ニ於キマシテモ、略々之ニ
似寄ッタモノデアリマシテ、認可トカ、許可ヲスルト云フコ
トガ如何ニモ自立チマスノハ、政府ヲシテ行ハシムルノ意思
ガ其基本ノ一ツニナッテ居ルト云フ點デ御諒解ヲ願ヒタイ、
次ニ總會ニ關スルコトデアリマス、御質問ノ通り出資者總
會ヲ致シマス、ソレハ第七條ノ規定ノ結果ト致シマシテ、株
式會社ノ規定ヲ適用シタイト存ジテ居リマス、左様御了承
ヲ願ヒマス

○鈴木委員 私マダ一寸意見ガアリマスケレドモ、星島君
ニ讓ッテ後ニシタイト思ヒマス

○星島委員 根本ニ付キマシテノ質問ハ昨日モ申上ゲマシ
テ御答ヲ得テ居リマス、私ハ是ハ重大ナ案デアリマスカ
ラ、ドウカ之ヲ玉成シテ良イモノニシタイト云フ精神ガアリ
マスノデ、私ハ本會議ノ際ニ於キマシテ、隨分横田サンニ失
禮ナコトヲ申上ゲタヤウデアリマスガ、此席デモ熱心ノ餘

リ言葉ニ若シ失禮ガアツタラ御着シテ願ヒタイ、私ハ根本ニ非常ニ矛盾ガアルヤウニ思フ、提案者ニ於テモ思切ッテ御修正ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ガ元來望ム所ノ貯蓄銀行、是ハ一步譲リマシテ聯合會ノ聯合會、日本全國ニ亘ル産業組合ノ大聯合會ニ對スルシマシテモ、只今鈴木サンガ御尋ニナツタヤウニ、又提案者ガ最も相互主義ヲ以テ提案サレタト云フコトヲ何ッテ産業組合ニ興味ヲ感ズル點ハ、中産以下ノ金融ヲ相互主義ニ依ッテヤルト云フコトハ、社會組織ニ良イ影響ヲ與ヘルト云フ所ニ特段ノ興味ガアル關係カラ、此金庫法案ガ若シ大聯合會ノ精神ヲ行クナラバ、其精神ヲ法文ノ上ニ十分現ハシテ行キタイ、其點ニ付テ今一寸氣ガ付イタ點カラ申シマシテモ、第二條一寸支店ト云フヤウナモノヲ設クルニシテモ、直グ主務大臣ニ伺フト云フコトニナツテ居ルガ、私ハ是ハ理事會ノ決議ニ依ッテ出來ルヤウニ爲サツテハ如何デセウカ、或ハ第七條ニ株式會社ニ關スル規定ヲ準用サレテデアリマスガ、私ハ此點ニ付テ非常ニ矛盾ガナイカト思ヒマスノハ、此組合ノ相互主義ノムヅカシイ點ハ、二百口持ッテ居ル人間モ、一口持ッテ居ル人間モ、共ニ一票ノ發言權ガアル、所謂資本主義ヲ否定スルト云フ點ニ非常ニ面白味ガアル、此出資者總會ト云フノガ第四條ニ認メラレテ居リマシテ、政府ノ認可ヲ經テ資本金ヲ增加スルト云フ點ノミガ漸ク認メラレテ居リマスガ、此總會ニ關スル規定ハ、全然資本主義ニ當リマセウカ、此總會ハドウ云フ風ニ發言權ヲ得ラレカト云フト第七條ニ於テ株式會社ニ關スル規定ヲ準用サレルヤウニナツテ居ル、サウスルト一人一票デナクシテ、二百口持ッテ居ル人間ハ二百ノ權利ガアル、ドウモ産業組合ノ根本精神ヲスッカリ破壊シテシマウヤウニ思フノデアリマスガ、此點ニ付テハドウ云フ御考デアリマセウカ、私ハ産業組合中央金庫法ガ、今迄政府ノヤラレテ居ル仕事ニ對シマシテ、隨分思切ッテ民本思想ヲ取入レタモノト思フノデアリマスガ、出資額ヲ限定シ、サウシテ何處迄モ一人一票デスルト云フコトニ付キマシテ、第五條ニ二百口ヲ超ユルコトヲ得ヌト云フノデ、産業組合ノ精神ヲ取入レテデアリマスガ、此第七條ニ於テ發言權、所謂決議權ガ出資口數ニ依ッテ差ガアル、或ハ一組合ガ如何ニ澤山口數ヲ持ッテ居テモ同ジ發言權ガアルノデセウカ、御尋シマス、ソレカラ混雜シマスガ、便宜上御尋シマス、第一條第二條ソレカラ第五條トノ間ニ於テ、相互主義カラ行ケバ出資者ヲ以テ組織スルト云フコトニナレバ、第一條中ニ少クモ産業組合聯合會及産業組合並ニ政府之ヲ組織ス、政府ガ入ラナケレバナラヌ、第六條ニ規定シテアルヤウニ金ヲ出スト云フ意味デハナクシテ、政府自ラ一個ノ組合員デアアル、斯ウ云フ意味ニシテ行ケバ面白イコトニナリハセヌカ、第四條ニ資本金ハ三

万圓、トデアリマスケレドモ、普通産業組合ハ斯ウ云フコトハ書カヌ、唯、一口百圓ナラバ百圓、但シ二百口ヲ超ユルコトヲ得ヌト云フヤウニシマスレバ、組合員モ政府モ共ニ聯合シテ一ツノ機關ヲ成スト云フノデ、茲ニ本當ノ相互主義ガ現レテ來ヤセヌカ、政府ガ後援スルケレドモ一組合トシテ後援スルト云フヤウナ所ニ非常ニ面白味ガ出テ來ヤセヌカト云フコトカラ考ヘマスト、第六條ノ政府ハ千五百萬圓ヲ限ル出資スルト云フヤウナ所ヲ、政府ハ十五萬口以上ハ少クトモ持ツト云フノデ、茲ニ所謂相互主義ノ心持ガ現レテ來ヤセヌカ、但シ十五萬口ヲ持ツト云フマデニ私ハ極端ナ事ハ申シマセヌ、此點ニ付テハ特ニ勸告ヲ以テ、或ハ其他ノ規定ヲシテ輕イテモ結構ト思ヒマス、其點ニ付テハ提案者ノ御考ヲ以テマシテ御考慮願ヒタイト思フノデアリマス、就キマシテハ組合ハ普通ノ組合モ入り、聯合會モ入り、聯合會ハ七聯合以上ガ基礎ニナツテ居ル、私カラ申セバ單ナル一組合ノ一票ト、其組合ノ親タル聯合會ノ一票ト同ジニスルコトハ公平ヲ缺クコトガアリハセヌカ、何カ其處ヲニ聯合會ト普通組合一般組合ト、全然平等ニ見ラレ、御考デアルカ、或ハ一ノ組合ハ一票ニシテ、聯合會ハ七票ナラ七票トスルトカ云フヤウナコトニ付キマシテ、如何ナル御考慮ガアリマスガ、聯合會モ普通組合モ、全然同ジヤウニ認メラレカト云フ點デアリマス、要スルニ第四條ニアリマス所ノ出資者總會ト云フ所ノ、總會ノ決議ヲ第七條ノ商法中株式會社ニ關スル規定ニ依リテ、産業組合法ニ關スル規定ト、斯ウ云フコトニナリマスレバ、定款トシテ既ニ各組合ガ用キテ居リマス所ノ機關ト云フ風ニナリマスレバ、一株一票ト云フノデナクシテ、一組合一票ト云フコトニナルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ第七條ノ株式會社ニ關スル規定ヨリモ、寧ろ聯合會主義ヲ行カル、ナラバ、所謂産業組合法ノ規定ニ依リテ一般ノ規定ヲ用キルト云フノガ妥當デハナイカ、此點ニ付テモ御意見ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二章ニ行キマシテ、先程鈴木サンカラモ御尋ガアツタノデアリマスガ、牧野サンノ御腹デハ實ニ徹底的ニ現在ノ特殊銀行法ヨリモ、モット官僚臭味ヲ去ラレルト云フ方ニ確ニサウ云フ御信念デアアルト思ヒマスガ併シ事實ニ於キマシテハ、今日日本銀行ノ總裁副總裁ダケガ官選ニナツテ居ル時代ニ、全部ガ官選デアアルト云フコトニ付キマシテ、今少シク——少クトモ理事長副理事長以外ノ理事位ハ、組合カラ選舉スルヤウナコトニ、モウ少シ總會、寧ろ機關ト云フモノニ付テ規定ヲ殊更ニソレヲ舉ゲテ御設ケニナル御意思ハナイカ、先程ノ御說明ノ俺達ノ組合デアルト云フ心持ヲ現ハスノニハ

ドウシテモ私ハ其所ニ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ進シテ其精神ヲ現ハス爲ニ、若シ不備ナル點ガアレバ其點ニ付テモ考ヘテ見ヤウ或ハイヤモウ是デ立派デアアルト云フ御考デアアルカ、ドチカラモウ少シ打割ッテ御心持ヲ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ第三章デアリマスガ、是ハ實ハ昨日モ又今日モ色々御質問ガアツタヤウデスガ、所得ノ問題事實私モ昨日御尋シヤウト思フテ居ッタノデスガ、今マダ徹底セヌ所ガアルノデアリマス、此中央金庫法ガ今度上程サレテ非常ニ世間全體ガ喜ンデ居ルト云フコトハ、現在ノ各種産業組合ガ困ッテ居ルコトハ、實際カラ言ヒマスレバ、相互主義ノ徹底カラ政府ノ力ヲ藉リタクテモ、産業組合デモ相當ノ出資ガ出來ル、又サウナケレバナラヌノデアリマスガ、悲シイカナ政府ノ御援助ヲ得ナケレバナラヌノデアリマスガ、大部分ハ本當ヲ言ヘバ實ハ這入ルカラ貸シテ呉レト云フノデ、其點カラシマシテ初カラ縦シ二百口持ツト云フヤウナ組合ハ、餘リ澤山借リルコトヲ欲シナイカモ知レヌ、本當ニ金ガ欲シイノハ、寧ろ這入レナイト云フヤウナ組合ガ欲シイノデハナイカ、先程牧野サンノ仰セラレタ所ヲ見マスレバ、誰ダツテモ入ルト云フコトデアリマシタガ、今日信用組合ナルモノガヤツタ實驗カラ考ヘレバ、君貸スカラ這入レト云フヤウナコトデ、是ガ一般組合ヲ毒スル一ツノ惡イ精神デアリマシテ、初カラ所屬組合ト限ッテアル爲ニ、金ガ欲シイ、然ラバ組合員ダケハ貸スカラ這入レト云フ所ニ非常ニ今日ノ組合ニ惡イ弊害ガアル、無論監督官廳其他ノ御監督デ以テ、一旦這入ッテモ信用調査ヲシタ上貸出スコトニナラナケレバナラヌ、サウスルト能ウ這入レナイ所ノ組合ハ非常ニ困ル、コ、デ私ハドウシテモ組合ヲ組織スル必要ノアル所ノ、組合以外ノ極ク低イ組合ニ對シテモ自由ニ是ハ貸出シモ出來ルヤウニシナケレバ、此相互ト云フ點ハ差措キマシテ、現在ノ産業組合中央會大會ノ決議ニ依リマシタル、今日輿論ヲ以テ勸迎サレテ居ル根本ノ精神ニ背クコトニナリハセヌカ、ソレハ相互主義ハ私共ノ希望スル點デアリマスガ、相互主義ヲ徹底スルト云フコトカラ行キマスレバ、組合ノ預金ヲ預ッテ、或ハ十五條以下ノ債券ヲ其他ノ點ガ是ハ又非常ニ矛盾ニナルノデアリマスガ、少々矛盾ガアツテモ都合ノ好イヤウニ、現在ノ株式組合ノ發展ヲ圖ルト云フ所カラ發足スルコトニハ、重ニ債券ノ發行トカ、預金ヲ預カルト云フコトハ、是ハ矛盾シテ來ルカモ知レヌガ、現在信用組合ハ殊更ニ預金ダケヲ預カリ、組合員デナケレバ金ハ貸サヌト云フコトハ、其處ニ矛盾ハアリマスガ、此矛盾ハ豫メ或點マデ認メテ宜イト思フガ、何處マデモ是ハ固執ナサル、ドウシテモ固執ナサル御積リナラバ、十五條以下ノ預金云々ト云フコトハ矛盾

盾ニナリハシナイカ、先程カラノ提案者ノ腹ヲ見マスレバ、私ハドウモ此點ニ付キマシテ御一考ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、甚ダ長ク混雜致シマシタガ、大體質問ノ要領ヲ摘ンダ積リデアリマス

○牧野委員 只今星島委員ノ御質問ハ實際私モ適切ナル御質問ダト思フテ、モウ仰シヤルコトハ同感デアリマス、サリナガラ茲ニ考ヘテ戴キタイノハ、星島委員ノ今言ハレタ其思想ヲ以テ之ヲ作、タノデアリマス、即チ吾々ノ理想デアリマス、此理想ヲ以テ之ヲ作、テ、今言ハレタ點ニ其處ニ私共陣痛ノ惱ヲ感ジテ居ル、ドウカソレダケヲ御承知ヲ願フテ置キタイ、大阪ニ行クニ東海道五十二次ハ廻リクドイカラ、汽車デ眞直ニ直接ニ行カウト云フ御説ハ、御尤デアル、サリナガラ吾々ガ眞ニ實行セシメル上ニ於ケル苦痛ガ其處ニアル、全ク其理想ハ必ズ從來相共ニ心ヲ同ジウシテ立チタイ、ソレニ星島サント吾々一結ニ努力スルト云フコトニ最モ實行シ易イ點、サウシテ多少理論ニ亘ル點ダケハ割愛シタイト云フノデ、全ク同感デアリマス、其點ニ付テハ割愛シタイモノト御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ

稍々各項ニ亘ル點ニ付テ申シタイト思ヒマスガ、從タクル事務所ノ設置ニ付テハ、理事會ノ決議ニ依リマシタラドウカ、政府ノ許可ナドハ必要ガナイデハナイカ、是モ官僚主義ト見ラル、點デアリマスケレドモ、是モ御了承ヲ願ヒタイ事ハ、政府トシテ行ハシマスケレドモ、社會政策ノ重要ナル所ノ一ツト云フ點ニ目ヲ付ケテ居ル、而シテ當事者ノ利益ハ産業組合ノ要求スル所、而シテ政府ガ爲サントスル所ト茲ニ一致シテ行キタイ、斯様ナ趣旨ニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ第七條ニ關聯致シテ株式會社ヲ適用シテ居ル、此處デ總會ノ事ニ言及ラナイサ、總會ノ規定ハ第七條ニ依リマシテ、株式會社ノ規定ガ當然此中ニ列シテ居ルモノト御覽ヲ願ヒタイ、而シテ此部分ニハ株式會社ト云フ活字ガ這入、テ居ルモノト御覽ヲ願ヒタイ、而シテ此點ニ於テ株式會社ノ事項ヲ適用スルヨリモ、即チ資本主義ノ方針ヲ採ルヨリモ、産業組合法ヲ適用シテ以テ新ラシキ一人一票主義ヲ徹底セシメテ、相互主義ノ精神ヲ現スヤウニシタラドウカト仰セラレハ、吾々非常ニ現ニ此規定ヲスルトキニ心配致シタ點デアリマス、此點ハ左様ナ譯デアリマスカラ、委員皆様トモ更ニ懇談ヲ重ネマシテ、十分考慮ヲ拂ッテ遺憾ナキヲ期スルヤウニ致シタイ、唯々只今ノヤウニ行ハレントスル努力ノ爲ニ、兎ニ角折衷主義ヲ採ッテ、多少不徹底ニ流シ、多點ガアリマスガ、ソレハ矢張生ル、モノノ痛ミト御解釋ヲ願ヒマス、ソレカラ第一條ノ第二項ニ關シマシテ、相互主義ヲ徹底セシムル爲ニ、政府ヲモ亦組合員ニ入レテ、政府ノ出資ヲ十五万口ト云フヤウナコトニシテ、

矢張同ジ出資者ト云フ風ニ中ニ入レル扱ヲシテ行、タラドウカ、此御説モ御尤デアリマス、現在ノ國家ノ制度又時代ノ思想、我國民思想ト申シマスカ、時代思想ト申シマスカ、サウ云フモノノ參酌シテ見ル必要ガアルト思ヒマス、若シモ政府ヲ産業組合員ト同ジヤウニシテ、議決權ヲ行使スルト云フヤウニスレバ「ブライベトリ」ナ關係デハ宜シウゴザイマスケレドモ、公ナ關係ヲ持ッテ居リマスカラ、ソコデ議決權行使ニ至ッテ意見ガ合ハヌ時ニ付テ困ル結果ヲ生ジハシナイカ、寧ロ政府ガ爲ス社會政策ヲ、國民ガ一結ニナッテ彼ノ力ヲ指導シテヤル、鞭撻獎勵シテヤルト云フ意味ニ於テ、政府ハ此處ニ入レナイデ置ク方ガ宜クナイカ、又左様ニシテ當分行ッテ行ク方ガ便利ヂヤナイカ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、次ニ組合ト組合聯合會トハ議決權行使ニ同一ニ見ルカト云フ御質問ニ對シテハ、大體ニ於テ同一ニ見テ進ミタイ、此考デア案ヲ立テタノデゴザイマス、次ニ理事ノ官選ヲ改メルノ意ナキヤ否ヤ、是モ全然同感デアリマス、此點ニ於テ適當ナル意見ヲ此處デ戰ハサレテ其結果玉成スルコトガ出來タナラバ、ソレニ從フコト決シテ答ヂナイノデアリマス、此點

ハ政府當局者トモ相當ニ打合セラシメ、皆サント力ヲ合セテ行キタイト思フテ居ル一ツデアリマス、唯々茲ニ御了承ヲ願ハナケレバナラヌ事ハ、多少官僚主義ガ取レナイヂヤナイカト言ハレテ居リマスガ、此點ニ付テ理事ハ、特殊銀行ハ例外ナク理事ハ營業ヲシテハナラヌ、商業ヲシテハナラヌト云フ規定ガアリマスケレドモ、ソナ規定ヲ置クト官僚式ノ人デナケレバ引張ッテ來ルコトガ出來ナイ、デスカラコチラノ仕事ヲシテ一方營業ヲヤッテモ宜イコトニシテ、好イ適任者ヲ入レル、コチラノ仕事ヲヤリ、アナタノ仕事モヤッテ下サイ、サウ云フコトニシテ天下ノ人才ヲ入レタイ、斯様ナ趣意デ官僚主義ヲ此處ニモ抜イタノデアリマス、ソレカラ所屬組合ニ限リマシタ事ニ付テ、中心ニ觸レタ御質問ガアマシタ、是モ同感デアリマスガ、資金ヲ貸セルカラ這入レト云フ趣旨ハ、實ハ毛頭持チマセヌ、其點ハ立案者ハ全然持ッテ居リマセヌ事ヲ明言致シマス、サウ云フ心持ハ兎ニ角本當ノ團體精神ヲ養成セシムル所以デナイ、唯々組合ト云フモノ、組織ヲ完成シテ行カウトスル、團體精神ヲ涵養シテ行カウトスル精神ヲ、苟モ彼ニシテ持ツナラバ、必ズ一口即チ最少限度ノ一十年間ニ百圓ノ出資ガ出來ナイ筈ハナイ、是デ押ヘテ行ク、汝ニシテ若シ公共ニ盡スノ意アラバ、十年間ニ百圓ノ金ガ出七ナイ筈ハナイヂヤナイカ、是デ首ヲ玉ヲ押ヘテ行キタイ、這入レ然ラバ與ヘント云フ考ハ毛頭持ッテ居ラナイ、然ラバ本案ノ目的トスル所ハ、中小産者ノ必要トスル資金ト、其爲サントスル事業ノ性質ト、其内容ト共計畫トヲ見テ、好イ事業デヤ、定ニ好イ事業デヤ、而モ好イ許

リヂヤナイ、其計畫モ立派ダ、併ナガラ資金ヲ持クナイト云フトキニ、其資金ノ需要ニ應ジテ、而モ社會ノ立場カラ見テ満足サシテヤル、是ガ目的デアル、ダカラ茲ニ一人ノ若者ガアル、彼ハ都會ニ出ナイデ田舎ニ於テ立派ナ仕事ヲヤッテ行キタイ牛ヲ一頭飼ッテ事業ヲシテ行キタイト云フノニ、牛一頭ヲ買フ力ガナイ、故ニ組合ニ相談ヲスルト、其計畫、乳ヲ搾ッテ賣ル計畫ハ實ニ適當ダ、サウシテ斯様ニシテ行キタイ、其計畫ハ適切ダト組合ガ見ルト、組合ハ中央金庫カラ金ヲ持ッテ來テ若者ニ貸シテヤル、スルト若者ハ其金デ牛ヲ一頭買フ、サウシテ乳ヲ搾ッテ賣ルヲ組合ニ報告シ、子供ガ生レタナラソレモ報告シ、ソレガ三年五年ノ間ニ立派ナ牧場ニナッテ來テ、更ニ幾多ノ若者ヲ使用シテ更ニ地方ヲ發達セシメ、公共ノ精神ヲ涵養セシメル、其人ノ力ハ乏シクモ其計畫ト共計畫ノ内容ニシテ立派ナモノハ、ソレヲ社會的立場カラ見、個人的方面カラ見テ適當デアラナラバ、金ヲ貸スト云フ風ニシテ行ク、コ、ハ何處迄モ精神ニ重キヲナスノデアルカラ、本案ノ規定ハ何處迄モ運用ニ對シテ大ナル目的ヲ持ッテ居ルカラ、ドウシテモ是ハ何處ノ案ト云フコトナシニ、完膚ナキ迄ニ修正セラレト云フコトデモ、玉成ノ目的デアルカラ、少シモ私共ハ頑ナノ立場ハ取ラナイ積リデアル、皆様ト力ヲ協セテ此趣旨ヲ達セシメタイ、而シテ星島委員ノ意見モ私ノ意見モ其中ニ於テ十分違ハナイト思フノデアル、唯々折衷説ヲ取ッタノハ全ク實行ノ餘儀ナキ惡事ト思召シテ、御見遁シノ程ヲ願ヒマス

○武藤委員長 今日ハ此程度デ止シマセウ 午後零時二十一分散會